



2018年8月

コエンザイム Q10 摂取が高齢女性の皮膚ガス中の加齢臭成分ノネナールに与える影響

「スメルハラスメント」という言葉を近年聞くようになりました。
夏場は何かと体臭が気になり、ケアをまめにされている方も多いのではないのでしょうか。
汗をかくとどうしても臭いが出やすい夏ですが、加齢による体臭は季節を問わず出てしまうものです。
季節や年齢にあった体臭ケアが求められつつあります。
今回のオルトメディコ通信では、コエンザイム Q10 摂取が高齢女性の皮膚ガス中の加齢臭成分ノネナールに与える影響を検証した論文をご紹介します。

引用：コエンザイム Q10 摂取が高齢女性の皮膚ガス中の加齢臭成分ノネナールに与える影響

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcam/14/1/14_17/_pdf

65 ～ 74 歳の健常な日本人女性を対象に、被験食品とプラセボをそれぞれ 4 週間摂取するクロスオーバー試験を実施しています。

検査では血中コエンザイム Q10 濃度と皮膚ガス中のノネナール濃度を測定しています。
調査の結果、被験食品群で血中コエンザイム Q10 濃度が有意に上昇し、ノネナール濃度が有意に減少しました。この結果より、コエンザイム Q10 の摂取は体内から発生するノネナールを減少させる効果が示唆されました。

1 日の皮膚からの水分蒸散量は 600ml といわれており、蒸散する臭気成分の増減が体全体から匂う体臭に影響することが予測されます。加齢臭はデオドラント製品などで入念にケアをしても気になるものです。食品の摂取で改善ができれば、加齢臭いに悩んでいる方の強い味方となるのではないのでしょうか。

オルトメディコでは様々なヒト試験の実施が可能です。

お気軽にご相談ください。

引き続き皆様に満足いただけるような情報を提供させていただきますので
今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

株式会社オルトメディコ
研究開発部 開発支援課
〒112-0002
東京都文京区小石川1丁目4番1号 住友不動産後楽園ビル2階
TEL：03-3812-0620 FAX：03-3812-0670
MAIL：info@orthomedico.jp